

## 1 一子どもとロボット (できないロボット)

### —情報学基礎での授業実践

(小林 孝浩、山田 晃嗣との共同担当)

#### 【概要】

ロボットが「できない」ことを積極的にとらえ、子ども-ロボットの関わり場を生み出すことを目的とする。

対人的な関わりを持つヒト型ロボット(Pepper)の動作を考え、プログラムを作り、ロボットを制御する。特に、子ども(幼児)を対象にすることで、①分かりやすい身体的な動きや言葉を検討すると共に、②ヒト型ロボットのあり方について考える。

【受講学生】 大学院1年学生

#### 【授業期間】

5月9日から5月31日にかけて授業時間を設定

#### 【ワークショップ】

実施日時：

5月10日(見学)、5月27日(第一回)、5月30日(第二回)

実施場所：大垣市三城保育園

実施対象：保育園児 5歳児



## 2 iamasOSでの学生企画展示「IAMAS WORKS」のサポート

#### 【概要】

前年度(2015)に引き続き、大垣市より、大垣商店街内のフリースペース「iamasOS」での展示依頼を受け、学生による企画展示を開催。

【参加学生】 ATPプロジェクト学生が中心となり企画運営

【開催日時】 2015年9月2日(金)～10月2日(日)

【開催場所】 大垣商店街内のギャラリースペース「IAMAS OS 3.0.1」  
(岐阜県大垣市東外側町2-9)

※→ 詳細はATPプロジェクト報告書に記載



## 3 岐阜おおがきビエンナーレ2015のカタログ制作

#### 【概要】

2015年度に開催した「岐阜おおがきビエンナーレ2015」のカタログの編集；制作。

【形態】 A4変形(正方形) カラー・モノクロ48頁  
批評執筆：吉岡洋、松井茂、小林昌廣、前田真二郎

※ 展示形態の3Dシミュレーション映像の制作



#### 4 「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」 企画

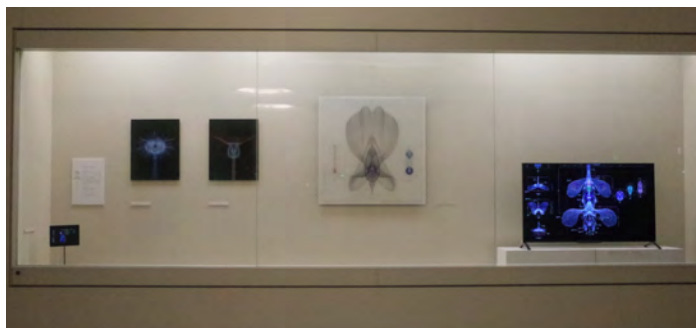
前年度に引き続き「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」企画委員として、岐阜県主催「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」の企画内容・募集要項などの策定



#### 5 「IAMAS SHOW CASE」 企画展示

##### ① 無機植物相 村山誠 展示

展示期間：2016年8月1日～9月30日  
3Dモデリングを使用し、植物の有機的な形態と、テクニカルなスケッチを合体させる。現代の植物図譜・植物図面の展示



##### ② YASUNO Taro X MINASE Sho IN THE CUBE (安野太郎、水無瀬翔)

展示期間：2017年3月1日～29日  
岐阜県美術館で開催される「ぎふ清流の国芸術祭 Art Award In the Cube 2017」に入選したIAMAS卒業生、安野太郎、水無瀬翔の活動紹介。  
(※ 安野：向かって左側の展示 水無瀬：向かって右側の展示)



#### 6 ラフォーレ「IAMAS 20周年展」アーティストトーク・モデレーター

2017年3月12日 のラフォーレ展アーティストトーク (村山誠、山城大督、菅野創)

#### 7 作品「Sleepless Babies」 展示

Sleepless Babies 眠れぬ子らのために  
展示期間：2017.1.14-1.28 展示場所：ギャラリー16(京都)

※→ 詳細は以下に添付

## Sleepless Babies

眠れぬ子らのために



## Sleepless Babies 眠れぬ子らのために

2017.1.14-1.28 ギャラリー16(京都)

「ギャラリー16」(塩田京子)の企画「living will (リビング・ウィル)」シリーズの第一回として展示される。1995年の原子力テクノロジーをテーマとして制作した作品「Innocent Babies (イノセント・ベイビーズ)」(※1)を端緒として、その後2011年3月11日の東日本大震災とそれに続く原発事故を契機として制作した「Second Berial (二番目の埋葬)」(※2)と「Transition State (遷移状態)」(※3)に続き、現代の日本の抱える社会的問題を象徴的で特異な内的風景として空間を構成する。

## 【展覧会テキスト】

私たちのすぐ横に汚染された森や畑そして町があり、他方ではベッドから身を起こそうと身構えている何基もの原子炉があります。私たちのすぐ横に私たちが立ち入ることを許されぬ場所があり、プロペラが騒音と共に旋回を繰り返しています。私たちの生み出した「眠れない子供たち」に取り囲まれて、私たちもまた「眠れない子供たち」と化していきます。作品「スリープレス・ベイビーズ」は、それら「眠れぬ子ら」への子守唄と言えるかもしれません。

※1 「Innocent Babies (イノセント・ベイビーズ)」、『第6回福井ビデオビエンナーレ』参加作品、1995年8月6日～13日、福井県立美術館でプロジェクト「埋葬」の展示、および福井県みどり図書館で、プロジェクト「図書館」の展示。

※2 「Second Berial (二番目の埋葬)」、個展、2011年5月14日～6月11日、夢創館(神戸)

※3 「Transition State (遷移状態)」、個展(企画:室井絵里)、2011年10月8日～10月29日、CAS(大阪)





## 【作品形態】

## ■導入部

展示空間に入る前の小部屋には、原発テクノロジーをテーマとする過去の三作品の記録映像が三台の小モニターで流されている。

また展示空間への入り口付近に、本作「Sleepless Babies」の一作品要素として一台のモニターが取り付けられ、作品内部のチルト式ビデオカメラからの映像が映し出されている。



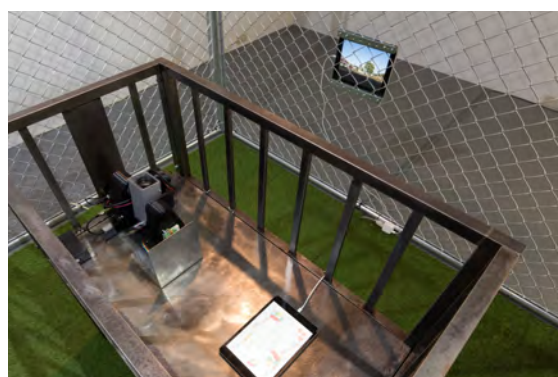
## ■囲い地

展示空間には金網フェンス（※1）で囲まれた二つの領域、「囲い地」が設けられ、いずれも緑の人工芝が敷かれている。手前の領域（囲い地 #1）には一台の鉄製ベッドが置かれ、奥の領域（囲い地 #2）では黒いプロペラが高速で回転している。



## (1) 囲い地 #1

手前の領域（囲い地 #1）には、緑の人工芝の上に一台の鉄製ベビー・ベッドが置かれている。鉄製ベッドの真上では黒色羽根のシーリング・ファンが間歇的に動いている。ベッドには一台のビデオカメラが取り付けられ、180度のチルト回転を非常に低速で続けている（※2）。カメラで捉えられた映像は外部のモニターにリアルタイムに映し出される。フェンスには小モニターが取り付けられ、廃棄物袋が並ぶ飯館村の農村風景と無人の幼稚園舎（飯館村立飯館幼稚園）を交互に映し出す（※3）。



この囲い地にはフェンスの開放部から観客が入ることができ、モニターの映像をフェンスの内側から見るができる。ベッド上のビデオカメラもまた、金網越しにそのモニター映像を捉えることになる。カメラの横に小さなモニター（※4）が置かれ、1971年から79年にかけて建設された福島第一原子力発電所1号機から6号機の誕生を祝うカード「Happy Baby」がスライド形式で表示されている。

※1 2m四方のメタルめっき仕上げの金網フェンス。手前の「囲い地 #1」には、身体幅の開口部がある。

※2 カメラのチルト動作は、フェンス取り付けの小モニター、天井のプロペラ、奥のフェンス（囲い地#2）で短時間静止しつつ7分20秒で往復する。動作中にカメラのズーム、レンズの焦点距離がコントロールされ、映像の様相が変化する。

※3 映像は、2016年10月23日に福島県相馬郡飯館村飯館町で撮影された。現在、飯館幼稚園の園児は同じく飯館村立の草野幼稚園の園児と共に福島市飯野町にある合同の仮設園舎で育てている。この情報はモニターの裏面（フェンスの外側に向いている）に記されている。（3分ループ、9.7inch iPad）

※4 6枚のスライド、1分30秒ループ再生。7.9inch iPad mini使用。



**(2) 囲い地 #2**

奥の領域（囲い地 #2）の方は、金網フェンスで完全に囲まれており、観客は中に入ることができない。フェンスには立ち入り禁止のプレート（※5）が取り付けられている。囲い地の中には黒い三枚羽根のプロペラがフェンスぎりぎりに設置され、静止状態から風切り音を出しながら高速回転へ移行する。人工芝に三台のサーチライトが直に置かれ、プロペラや金網の影を壁面に映し出している（※6）。

※5 プレートには「UN AUTHORIZED ENTRY PROHIBITED 無断で立ち入ることはできません AND PUNISHABLE BY JAPAN LAW 違反者は日本の法律によって罰せられる」が記されている。それは沖縄普天間基地のフェンスに取り付けられている立ち入り禁止プレートの言葉でもある。

※6 プロペラは3分25秒周期で、静止と高速回転を繰り返す。プロペラが静止状態の時に、三台のサーチライトが首振り運動を行う。





**■壁面**

展示空間の片方の壁面には数十個のベビー・スプーンの配列があり、その反対側の壁面に二つの小モニターが設置されている。また部屋を取り囲むように子守歌「サマータイム summer time」の歌詞が記されている。

**(3) ベビー・スプーンの配列**

縦六列、横11列、計69個の箱が設置され、その内61個の箱にベビー・スプーンが吊り下げられている。4分おきに一列目の数個のスプーンが音をたてて揺れ始め、次第に下列のスプーンが連動し、最後には30個が揺動する。(※7)

※7 69個の箱は、廃炉も含む日本における原子炉の総数を表している。その内スプーンのない8個の空き箱は建設・稼働計画中のものである。スプーン61個の内、揺動する31個は、現在稼働しているもの、稼働申請中であるもの。また福島で廃炉作業中の四基を示している。69個の箱は北海道から鹿児島にかけて、原発立地場所に応じた配置がなされている。



## ■壁面

## (4) 壁面モニター映像

壁面の二つの映像の一方は、2016年10月24日に福島県双葉郡富岡町で車窓から撮影したものを編集し、スロー再

生したもの（13分29秒ループ）。もう一方は、同日、富岡町から国道6号線を北上し、浪江町に至る車窓撮影によるものである。（10分15秒ループ）両者とも車の走行音に混じり、原因不明のノイズ音が入る。



富岡町



国道6号線

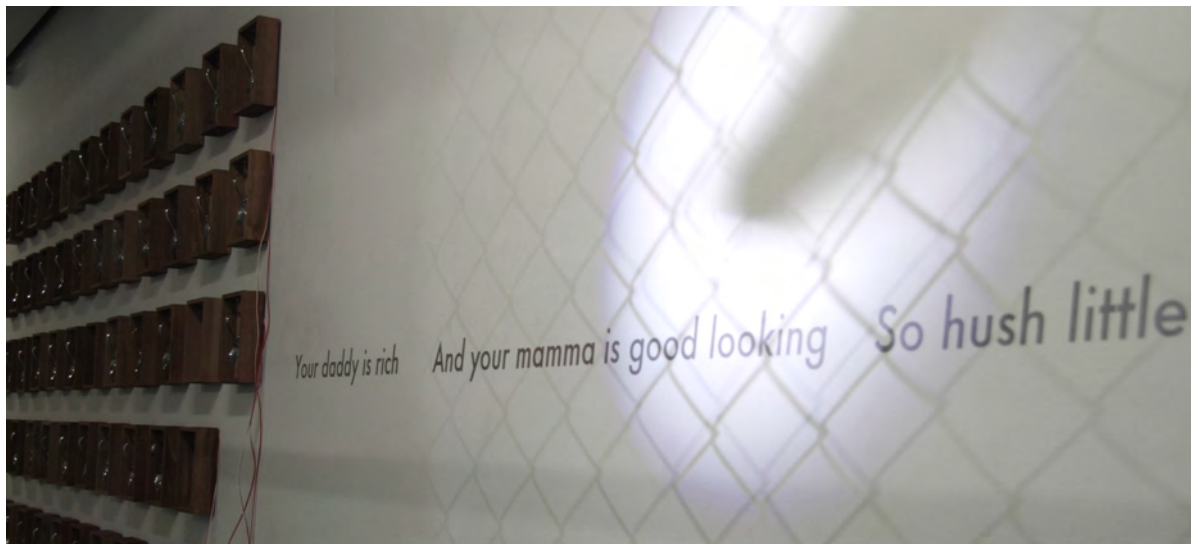
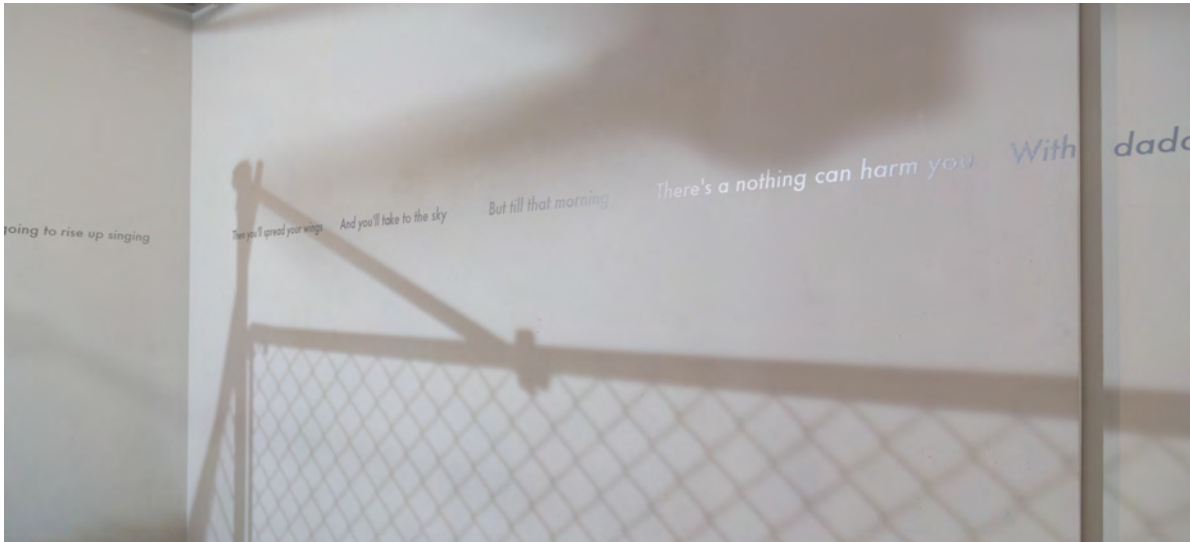


## ■壁面

## (5) 子守歌「サマータイム」

展示室を囲む壁面を一周するように、子守歌「サマータイム」の歌詞が銀色の文字で書かれている。1 番の歌詞、2 番の歌詞、再び 1 番の歌詞が繰り返される。(※8)

※8 「サマータイム」は、ジョージ・ガーシュウインの作曲、デュボース・ハイワード作詞のスタンダードナンバー。黒人のみで上演されるオペラ「ボーギーとベス」の挿入歌。



サマータイム歌詞

1 番 : Summertime / And the living is easy / Fish are jumping / And the cotton is high / Your daddy is rich / And your mamma is good looking / So hush little baby, don't you cry

2 番 : One of these mornings / You're going to rise up singing / Then you'll spread your wings / And you'll take to the sky / But till that morning / There's a nothing can harm you / With daddy and mamma standing by



■補足 チルトカメラからの映像シーン 展示空間入り口のモニターで表示



1



6



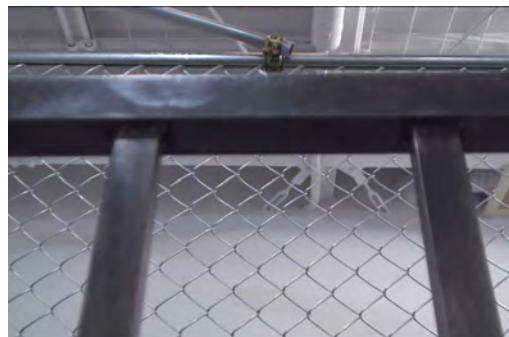
2



7



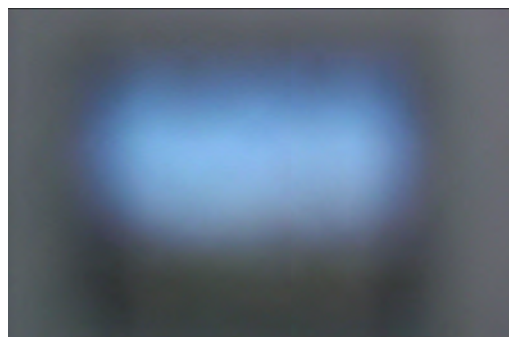
3



8



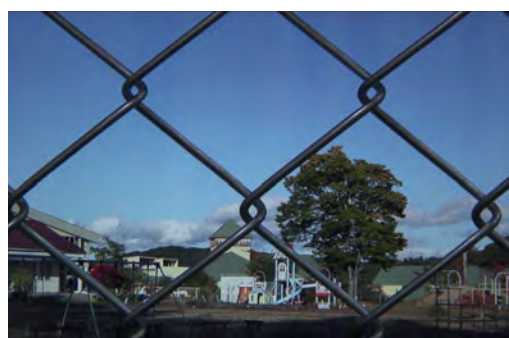
4



9



5



10

